

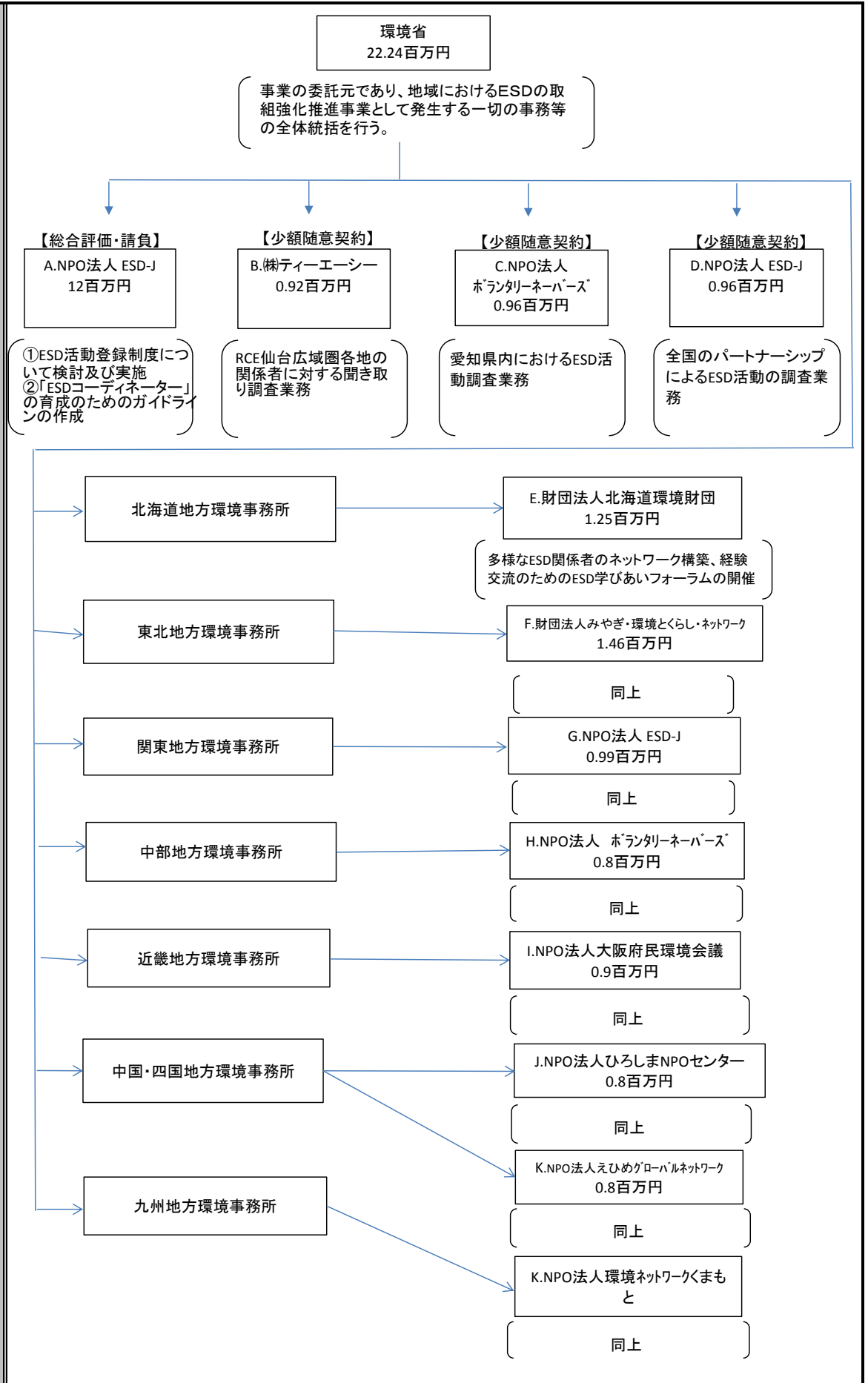
平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	地域におけるESDの取組強化推進事業	担当部署	総合環境政策局	作成責任者								
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度開始	担当課室	環境経済課環境教育推進室	環境教育推進室長 宮澤 俊輔								
会計区分	一般会計	施策名	8-4 環境教育・環境学習の推進									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域に根ざした参加型のESDの実践を支援するため、「ESD活動登録制度」及び「ESD学びあいフォーラム」等の実施により、ESD活動の可視化と、可視化を通じたESDの地域間のネットワーク化を進め、全国にESDの普及・浸透を図り、国内におけるESDの取組を促進することを目的とする。 ※ESDとは、「持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development)」の略で、持続可能な社会の実現を、一人ひとりが世界の人間や将来世代、また、環境との関係性の中で生きていることを認識し、よりよい社会づくりに参画するための力を育むため、環境をはじめとして、人権、福祉、地域経済再生などの課題に取り組む学習や活動のことを指す。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①ESD活動登録制度(「+ESDプロジェクト」)の運用により、国内で実践されているESDの理念に合致する活動を可視化し、ESDの普及を図るとともに、活動の実践者同士や実践者と活動支援者をつなぐことでESDの推進・活性化を図る。 ②教育機関・NPO・企業・地方公共団体等の多様な関係者間の連携を促し、地域におけるESDを推進する「ESDコーディネーター」の育成に関するガイドラインを作成する。 ③本省及び各地方環境事務所においてESDの実践者・支援者等の多様な主体のネットワーク構築、経験交流のための会議を開催する。											
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他											
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求					
	予算 の 状 況	当初予算	31	35	28	21	0					
		補正予算	0	0	0	0						
		繰越し等	0	0	0	0						
		計	31	35	28	21	0					
	執行額		30	28	22.24							
	執行率(%)		97%	80%	79%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)				
	成果は地域においてよりよい社会づくりに参画するための力を育むことであり定量的に示すことは困難である。			成果実績	—	—	—	—				
				達成度	%	—	—					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込				
	活動登録制度(+ESDプロジェクト)への登録活動数			活動実績 (当初見込み)	数	—	61	120				
						—	(80)	(100)				
単位当たりコスト	— (円/)			算出根拠	本事業は国内におけるESDの取組を推進する事業として、ESD活動登録制度の他、ESDコーディネータの育成や経験交流等の会議の実施も含むため、活動登録制度のみの費用を特定することが出来ないことから単位あたりのコストを算出することはできない。							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由								
	環境保全調査費	21	0	258、275の事業に組替え								
	計	21	0									

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	持続可能な社会の実現を目的にESDの国内での推進に向け国内実施計画を策定するなど、政府として重要な事業であり、提案国である我が国が牽引していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者の選定にあたっては、総合評価落札方式によるものとしており、事業者選定後は事業費の見積書を徴収することで支出内容を把握している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	「+ESDプロジェクト」登録活動数等により事業成果については把握しているところ。 また、「+ESDプロジェクトサイト」を通じて、地域で取り組む環境保全活動がESD活動として紹介され、国内のESD活動の拡大・推進に効果を上げている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成18～20年度に実施したモデル事業の成果と課題を踏まえ、22年度に本格実施したESD活動登録制度（「+ESDプロジェクト」）は、ESDとして実践されている活動はもとより、ESDの理念や趣旨に合致していながら未だESDの一つとして認知されていない様々な活動について、ウェブサイトに登録いただくことでデータベース化し、日本におけるESD活動や支援事業の情報を発信すること（「見える化」）や、活動の実践者同士や実践者と支援者（中間支援組織や助成団体、企業、大学など）との連携を促すこと（「つながる化」）によって、国内のESD活動の活性化を図るものである。これは、効率性のある手法で我が国独自のESD推進の取組であり、また、国の負担するコストを抑えつつESDの普及促進と地域の活動活性化支援を実現するものである。今後は、本プロジェクトを適切に運用するとともに、利用者の利便性向上のための点検及び改善を行っていく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	環境教育に関わる事業を整理統合することで効率的な事業実施に努めるべき。 地方環境事務所計上予算については、「地方環境パートナーシップ推進費」の一部として統合し、効率的な事業実施に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	環境教育に関わる各事業について、執行等も含めた業務の見直しを行い、平成25年度要求においては、事業を再整理する。		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号 平成22年行政事業レビュー 252 平成23年行政事業レビュー 247			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	ANPO法人 ESDーJ					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	事務局人件費	4.7			
	諸謝金	委員会、ヒアリング等謝金	0.7			
	旅費	会議・シンポジウム出席旅費	2.3			
	印刷製本費	シンポジウム資料、報告書等	0.1			
	借料及び損料	シンポジウム等会場費	2.7			
	その他	賃金、消耗品費、管理費等	1.5			
	計		12	計		
	E.財団法人 北海道環境財団					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	学びあいフォーラム業務人件費	0.73			
	諸謝金	講師等謝金	0.11			
	旅費	講師等旅費	0.24			
	その他	会議費、借料及び損料、一般管理費、消費税当	0.17			
	計		1.25	計		
	F.財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	学びあいフォーラム業務人件費	0.64			
	諸謝金	フォーラム出席謝金	0.29			
	旅費	フォーラム出席旅費	0.41			
	その他	会議費、通信運搬費、消耗品費、一般管理費、消費税当	0.12			
	計		1.46	計		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人 ESD-J	+ESDプロジェクト事務局業務等	12	2	
2					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 ティーエーシー	RCE仙台広域圏各地の関係者に対する聞き取り調査業務	0.92	少額随意契約	-
2					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人 ボランティアネーバース	愛知県内におけるESD活動調査業務	0.96	少額随意契約	-
2					

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人ESD-J	全国のパートナーシップによるESD活動の調査業務	0.96	少額随意契約	-
2					

E

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人 北海道環境財団	ESD学びあいフォーラムの開催業務	1.25	随意契約	-
2					

F

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	ESD学びあいフォーラムの開催業務	1.46	随意契約	-
2					

G

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人ESD-J	ESD学びあいフォーラムの開催業務	0.99	少額随意契約	-
2					

H

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人ボランティアネーバース	ESD学びあいフォーラムの開催業務	0.8	少額随意契約	-
2					

I

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人大阪府民環境会議	ESD学びあいフォーラムの開催業務	0.9	少額随意契約	-
2					

J

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人ひろしまNPOセンター	ESD学びあいフォーラムの開催業務	0.8	少額随意契約	-
2					

K

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人えひめグローバルネットワーク	ESD学びあいフォーラムの開催業務	0.8	少額随意契約	-
2					

L

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人環境ネットワークくまもと	ESD学びあいフォーラムの開催業務	0.4	少額随意契約	-
2					